

所属・職位	医学部看護学科実践看護学講座・教授	
氏名	末弘 理恵 (Suehiro Rie)	
取得学位	博士 (保健学)、金沢大学、2011年3月	
SDGs目標	 	

研究分野	クリティカルケア看護、老年看護
研究キーワード	クリティカルケア看護、周手術期、高齢者ケア、せん妄ケア
研究内容	<p>●手術を受ける後期高齢者のケアプログラムの開発</p> <p>手術をうける後期高齢者は、前期高齢者と比べ緊急手術及び術後ICUに入室している者が多かった。ICUでは、早期の苦痛の除去や付添い、リラクゼーションや関心ある話題により睡眠が充足され早期回復につながっていた。一方、手術に対する意思決定を高齢者自身が行い、術後の人生をイメージしていた者は術後のリハビリテーションにも積極的に参加していた。後期高齢者が手術を受ける際には術前より今後生き方を共に考え支援する必要性がある。</p> <p>●ICUにおける高齢患者のケアプログラムの開発</p> <p>ICUに入室する高齢者は成人期患者の7割を占め、入室期間は成人期患者より延長していた(4.2日<5.1日)。看護師は高齢患者のケアにて、多動不穏な状態や睡眠障害等を経験し、患者の現状認知、睡眠覚醒、早期離床を実施していた。一方、せん妄や認知症による意思疎通の障害に困難感を持ち、チーム上の課題として、看護師間のケア方針や内容の不統一、医師との治療方針の共有が示された。ICUでの高齢患者へのケアプログラムにおいては、個別ケアに加え、医療チームで進める必要性が示唆された。</p>
研究業績・アピールポイント	<p>●主な研究論文・発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Suehiro Rie ; Effect of cerumen removal among institutionalized elderly individuals: Hearing and the relationship between earwax type and accumulation, Journal of the Tsuruma health science society, Kanazawa University, Vol.34 No.2, 1-11,2011. ・ 森淳恵、末弘 理恵、荒川 満枝他：看護系大学卒業生のキャリアとキャリアアップに対する考え、大分大学高等教育センター紀要 第5号 21-27,2013. ・ 尾野亜由美, 末弘理恵：救命救急センターに入院した後期高齢患者の睡眠の実態—非装着型睡眠計を用いた睡眠評価—, 日本老年看護学会 第23回学術集会抄録集, 163, 2018. ・ 末弘理恵、宮脇美菜子：ICUにおける高齢患者のケアの実際、第45回日本看護学会・急性期看護学術集会、269, 2014. <p>●主な科学研究費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 要支援・要介護高齢者の耳のケア効果に関する介入研究, 2008-2010, 代表 ・ ICUにおける高齢者のケアプログラムの開発, 2011-2014, 代表 ・ 手術を受ける後期高齢者におけるケアプログラムの開発, 2015-2018, 代表 ・ 術後疼痛の症状マネジメントに用いる除痛アルゴリズムと評価指標の構築, 2019-2023, 分担 ・ 認知症を有する後期高齢者のがん患者の人生の最終段階を支える看護のモデル化, 2016-2019, 分担 <p>●受賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重度認知症高齢者の耳垢蓄積と耳のケアの実態, 日本認知症ケア学会・石崎賞, 2007.

役員

大学院教育学研究科
教育学部

経済学部

医学部

医学部附属病院

理工学部

福祉健康科学部

その他学内施設等